

山形市PTA連合会 会報

じゅひょう

山形市PTA連合会ホームページ ymgtcity-pta.com



検索

第40号

令和4年12月発行

発行 山形市PTA連合会

会長 船橋吾一

山形市大字風間字地蔵山下2068

弘栄設備(株)内

TEL 023-676-8693

印刷 武田紙工株式会社



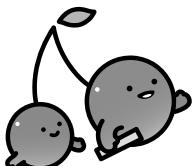
『人とひとのつながりを体感しよう!』

～あがらっしゃい精神の山形から～

令和4年度

第70回日本PTA全国研究大会山形大会が開催されました!!

HP:<https://www.ymgtcity-pta.com> E-mail:info@ymgt-pta.jp



PTA 2022
in YAMAGATA

第70回日本PTA全国研究大会 第54回日本PTA東北ブロック研究大会

山形大会 大成功!!

【期日】令和4年8月26日(金)～27日(土)

【会場】分科会：山形県内10会場、全体会：山形市総合スポーツセンター

公益社団法人日本PTA全国協議会は、全国64協議会800万人の日本最大の社会教育関係団体です。PTAは、家庭と学校そして地域をつなぐ大きな役割を担っています。私たちは、コロナ禍においても、愛する子供たちの未来のために「学びの歩みを止めない」という想いで活動を続けてきました。これからも、大きく変化する教育環境に親としてPTAとして出来ることを、歩みを止めることなく学びを深めたいと考えています。山形大会は、中止になった富山大会、リモート参加になった北九州大会の熱い想いを引き継ぎ、すべてのPTA会員が人とひとの「つながり」の大切さを体感出来る大会になることを願って開催されました。

大会スローガン

『人とひとのつながりを体感しよう！』

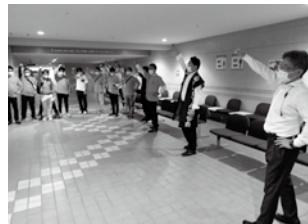
～あがらっしゃい精神の山形から～

Withコロナ時代、コミュニケーションの基本である「会う」ことが極端に制限され、本来大切な「つながり」というものを感じることができなくなっています。「あがらっしゃい」とは、山形の方言でおもてなしの言葉です。このあがらっしゃい精神が宿る山形の地で集うPTA会員が、素敵な「つながり」を体感できるような大会にしたいという想いが込められています。

メインテーマ

- ・「いのち」のつながりを感じ、次代につなぐPTA活動
- ・「ふるさと」を愛し、心をつなぐPTA活動
- ・生きる力を「まなび」、次代につなぐPTA活動
- ・多様な「つながり」から、子供たちの未来を切りひらくPTA活動

PTAは、愛する子供たちのすこやかな成長のために活動する団体です。連綿と受け継がれてきたこのPTA活動において、時代がどんなに変わろうともしっかりとつないで来たものがあります。それが、「いのち・ふるさと・まなび」です。未来を担う子供たちに、これらをつないでこそ、輝かしい日本の未来を切りひらいていけるものと考えています。コロナ禍では、これほどまでに「つながり」の大切さを再確認した時代はなかったと思います。「いのち・ふるさと・まなび」をつなぐことをテーマに、これまでの歩みを検証し、PTA活動における真の「つながり」を体感できる大会になることを願って準備を進めてきました。



全体会会場の準備が終わり、実行委員会で大会成功に向けて「エイエイオー！」と声を合わせて気勢を上げました。

全 体 会

歓迎アトラクション

「やまがた The MOGAMIGAWA」

ひとつの県を流域とする流路延長 229 Km にわたる一級河川最上川。山形県の歴史、文化、産業、芸術等あらゆる面に大きな影響をもたらしてきた最上川。田畠を潤し、富をもたらし、時代を越え、歌や踊りとしても現代に受け継がれてきました。

県内出身のシンガーソングライター民謡日本一に輝いた朝倉さやさん、地元「良絃会」の伴奏による花笠音頭の演奏、村山産業高等学校「又新連(ゆうしんれん)」の躍動感溢れる徳内ばやし、山形大学花笠サークル「四面楚歌」による華麗なパフォーマンス、優しくも激しい山形県の母なる川「最上川」の流れにのせた山形の文化の一部が披露されました。



開会行事

開会式では、築文部科学副大臣と吉村山形県知事からご祝辞を頂きました。その後、金田公益社団法人日本PTA全国協議会会长と船橋山形大会実行委員長から、主催者あいさつがありました。そして、山形市を代表して、佐藤山形市長より歓迎の言葉がありました。

『第71回日本PTA全国研究大会 広島大会』は来年8月25日、26日に広島県にて開催されます。大会旗の引き継ぎの後、広島大会の実行委員会から、大会PRがありました。



金田日本PTA全国協議会会长



船橋山形大会実行委員長



次期開催地(広島県) PR

記念講演 並びに 記念演奏会

記念講演は、2007年より山形交響楽団音楽監督に就任、芸術総監督を経て、今年、桂冠指揮者に就任、山形をはじめ国内外で活躍をされている、指揮者・飯森範親さんです。

演題は、

『「一本のタクト」は、人のこころを豊かに幸せにするアイテム
ライブでしか味わえないお話と演奏をあなたに・・・』です。

オーケストラの中心であり司令塔である指揮、曲に内在する感情を引き出すのが指揮者の仕事。日本の指揮者を代表する飯森範親氏は、真の指揮者とは「一本のタクト」により、オーケストラの演奏者一人ひとり、視聴者一人ひとりを見えない糸でつなぎ合い、紡いでいく。あらゆるもの超越した唯一無二の空間を作り出せる存在であると語ってくれました。飯森さんの講演から「人とひとつのつながり」の大切さを、すべての参加者が体感することができたと思います。



闭会式

山形大会の成果を取りまとめた大会宣言決議が、荒井大会宣言起草委員長より提案があり、大きな拍手で承認されました。

2022年8月27日(土)

第70回 日本PTA全国研究大会
第54回 日本PTA東北ブロック研究大会

山形大会 速報

『人とひとのつながりを体感しよう！』
～あがらっしゃい精神の山形から～
第70回日本pta全国研究大会は、26日、山形県内「人とひととのつながりを実感してもらおう！」をスローガン
に掲げ開幕した。山形県での開催は平成5年以降29年ぶりとなる。

山形で熱い議論
初日は10分科会で家庭教育や
地域連携など様々な領域から基
調講演やパネルディスカッション
などを実施した。また、各学校会
場で懇親会やネットワーキング
会場を設けた。

日本ptaが担当する特別第1
分科会は、天童市民文化会館で
行われた。アーティストによる天
童城跡ダンスや音楽癒しなど、天
童城跡を活用したその後、「今と
日本の学び」を支援するNPO
TAKIアート研究会による講
話、「カルデラスカッティング」を
行なった。

また、山形県の山銀銀紙市
の実施表明では、上山市立の3
校（南中学校・北中学校・宮川
小学校）による「学内小中學
部アート塾」の取り組みが紹
介された。

また、山形県の山銀銀紙市
の実施表明では、上山市立の3
校（南中学校・北中学校・宮川
小学校）による「学内小中學
部アート塾」の取り組みが紹
介された。

第8分科会（分科会会場）
第8分科会（会場）
第8分科会（会場）

第1特別分科会場アトラクション
(天童高校ダンス部)

2022年8月27日(土)

研究講演会

基調講演者

分科会	領域	基調講演者
第1分科会	家庭教育	鈴木一作 先 さくら風来会の会長
第2分科会	学校教育	東京大学医学部附属病院 准教授
第3分科会	地域連携	東京工業大学 特聘講師
第4分科会	人権教育	渡部和也 先 人権教育の会会長
第5分科会	広報活動	久保田也 先 人権問題セミナー会代表
第6分科会	情報教育	能藤英平 先 まつりひろく会代表
第7分科会	社会貢献	葛西幸子 先 シニアボランティア委員会 会長
第8分科会	社会貢献	木村泰之 先 アーバン・ネットワーク委員会 会長
特別第1分科会	「令和の日本型学校教育」を支援するPTA活動 における学校教育と家庭教育の役割	木村泰之 先 日本教育普及振興会会長
特別第1分科会	「令和の日本型学校教育」を支援するPTA活動 における学校教育と家庭教育の役割	木村泰之 先 日本教育普及振興会会長
特別第1分科会	「令和の日本型学校教育」を支援するPTA活動 における学校教育と家庭教育の役割	佐藤和紀 先 日本大学教育学部 教授

特別第1分科会：パネルディスカッション

第2分科会：住みよはる（華の会）：太鼓道場編の会

第8分科会：山形市立喜多方中学校金管バンド

特別第2分科会：太鼓 <TAISHIN>

「令和の日本型学校教育」を支援するPTA活動における学校教育と家庭教育の役割

分科会



第1分科会「家庭教育」

基調講演

「子どもの心を育てる
～子育てを支える PTA の役割～」



第2分科会「学校教育」

パネルディスカッション

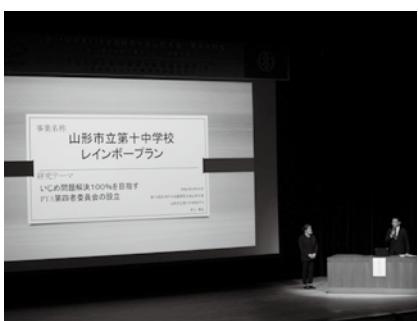
「地域とつながる学校教育」



第3分科会「地域連携」

アトラクション

新庄まつり囃子「休場囃子若連」



第4分科会「人権教育」

実践発表

「いじめ問題解決 100%を目指す
PTA 第4者委員会の設立」



第5分科会「広報活動」

基調講演

「みんながプロデューサー?
ウサヒのゆるキャラ広報術」



第6分科会「情報教育」

基調講演：葛西紀明氏

「夢は、努力でかなえる」



第7分科会「社会教育」

アトラクション

鶴岡市立東栄小学校
「添川・東堀越の踊り」



第8分科会「環境・安全」

アトラクション

寒河江中部小学校金管バンド



特1分科会「日本PTA担当」

基調講演

「令和の日本型学校教育を
支援する PTA 活動」



特2分科会「文部科学省協力」

パネルディスカッション

「メディア・リテラシー育成における
学校教育と家庭教育の役割」



第1分科会「家庭教育」

アトラクション

村山市立橋岡小学校居合道クラブ



特2分科会「文部科学省協力」

アトラクション

太憲 TAISHIN

実践報告

『子どもを愛し 地域を愛 ～愛する子どもたちの健全

できる範囲で、できる事を、できる人がやる

山形市立第七小学校 P T A 会長 川 崎 充

コロナが小康状態となった昨年末ごろ、「春になれば失われた 2 年間を取り戻す方へ舵を切れるかな?」と考えておりました。しかし人生思うようにはいかないもので、残念ながら以前のような P T A 活動へ戻るという期待は叶わず。何より 6 年生の親として、現状に慣れ以前の当たり前が出来ないことを「悔しがる」という感情さえ持ちはない、子供たちの運の無さが残念でなりません。最終学年を迎えるに当たり、見出しの言葉が浮かんだ理由の半分は、予測不能だったこの社会状況にあります。

とはいっても、わが子のために何かをしたい、というのが親心。最近、大都会の P T A 事情を「活動は負担でしかない」「強制はしないでほしい」という一部の意見のみ印象的に、ネガティブに伝える T V 番組を見ました。しかし、親や家族、そして教員という職業を選択した先生方の、そのほとんどは大切な我が子や教え子のためになることをしたいと思う方が、ごく自然で普通の感情だと思うのです。「できる範囲で、できる事を」の残り半分の理由は、そういうシンプルな考え方見える化した、合言葉のつもりです。

令和 4 年度 P T A 活動の実践テーマは『育もう「いのち」輝き笑顔あふれる「みつばちっ子」』。このテーマと前述の合言葉を胸に、やれる範囲でやれることを行っています。P T A 総会、自転車教室、交通指導、運動会のお手伝い、学校運営協議会の立ち上げ、全国 P T A 大会への参加、校内清掃などがその主なもので、いずれも、「令和風 P T A モデル」をやや意識し、参加できる人が、無理のない範囲で、負担をシェアし行ってきたつもりです。

感染者数の乱高下で暗黙的な社会ルールが日々変わる落ち着かない生活の中でも、時間だけは着々と過ぎ去ります。残り約 4 か月。ここまでの方針を継続し、「全部はできなかったけどやれることはやったよね。」と言えるような活動をしながら、二度と戻らない子供たちとの時間に寄り添っていきたいものです。



△安全第一！自転車教室の様子

Smiles of the children ～子供たちの笑顔 魅力ある学校へ～

山形市立蔵王第一小学校 P T A 会長 山 口 納里子

私たち蔵王第一小学校は令和 5 年度に開校 150 周年を迎えることになります。私自身が生まれるずっと前からこれまでの長い歴史の中で変わらずあるものは子供たちのきらきら輝く笑顔ではないでしょうか。新型コロナウイルスが世界中を狂わせ、教育の現場、家庭環境等、あらゆるもののが制限され続けました。子供たちにとっても日常生活が一変したはずです。それでも子供たちが元気に登校する姿は我々大人たちの励みにもなったように思います。最近少しずつではありますが子供たちの様子を校内で拝見できる機会が増えました。授業の様子、運動会、P T A 活動等、時間や人数の制限はありますが保護者の皆様にとってはとても嬉しい時間のはずです。子供たちがのびのびと変わらない笑顔で学校生活を送っている光景は本当に素晴らしいです。これも校長先生はじめ教職員の皆様の大変なご苦労があってこそと感謝しております。そして地域の皆様の温かい愛情とご協力があるからだと思っております。

今年はプール授業、観覧を設けての運動会、マラソン記録会、地域の方々との交流である秋の収穫祭で稻刈りやキノコ狩りも楽しみました。バスに乗っての課外授業、修学旅行もあります。P T A 活動として清掃活動、資源回収、ソフトボール大会も行いました。今までが当たり前だったことをこんなにも嬉しく報告できることがなんだか不思議な気持ちでおりますが、その分の子供たちの笑顔をたくさん見れたこと、これは蔵王一小の子供たちに携わって下さった方々に感謝しかありません。

150 周年を迎えるにあたり、これからも笑顔が魅力の子供たちのために全員で取り組んでいけたらと思います。



し互いを信頼し合うPTA』 な育成と幸福のために~

地域の伝統と自然を活かしたPTA活動

山形市立西山形小学校PTA会長 木川 浩史

西山形小学校は明治27年に前身となる柏倉門伝尋常小学校が創立され、今年で創立128周年を迎えます。平成24年に双葉小学校と統合され、現在の生徒数は59名となっています。山形市の西側に位置しており、本校のシンボルである富神山のふもとの自然豊かな場所に校舎があります。今年もコロナ禍により様々な活動に制限を受けてきましたが、少人数校の良さを活かし運動会には保護者の方々にご来校頂き、元気いっぱいに活躍している児童の様子を見ていただく事ができました。また今年は3年ぶりに校舎の裏側にあるホタルキラキラランドでのホタル観賞会を実施することが出来ました。平成12年にホタルキラキラランドが完成してからずっと、年2回程度ホタルの生育環境保全のため水路とその周辺の除草、水路とため池の泥上げをPTA活動として行ってまいりました。ホタルキラキラランドでは椎茸を栽培し収穫をしたり、竹林からタケノコを収穫したり児童は自然と触れ合いながら楽しく自然学習を行っています。

今年度は「これから社会の担い手として必要な学力や資質・能力をもち、西山形地区に生まれ育ったことを誇りに感じている子供を育てます」を目標として活動を行っています。コミュニティスクール制度も今年で3年目となり、地区のコーディネーターの方が先生方と連携し地域の伝統行事や様々な体験学習を通して、五感をはたらかせた体験と学びを充実させています。現在は新校舎が西山形コミュニティセンターの隣に今年度中の完成に向けて建設中です。これにより、学童クラブ・コミュニティセンター・小学校が併設されることになり、今まで以上に地域の方々と一体となって子供たちの活動を支援していきたいと思います。



できることを見つめて

山形市立第三中学校PTA会長 伊藤 善隆

創立75周年を迎える山形市立第三中学校は、2年前にやまぎん県民ホールがオープンするなど発展著しい山形駅西地区に位置し、学区内には交通の要衝である山形駅やバスターミナル、山形駅周辺の商業地を抱える伝統校で、今年度の生徒数は619名です。

私たち山形三中PTAは、毎年テーマを決め、5つの専門部を組織して活動しています。今年のテーマは「できることを見つめて」です。ここ数年、コロナ禍ということで様々な制約を受けながらの社会生活を強いられており、PTAの活動も多く制限を受けてきました。そんな中においても、感染防止に取り組みながら「できる活動」を見出し、先が見えないからこそ「楽しいこと」「笑顔になれること」に一つでも多く取り組んでいこうという考え方のもと、本テーマを設定し活動しています。

具体的な活動としては「我が家の大運動」「我が家の大ネットルール宣言」の取り組み、環境整備部の校地美化運動、母親委員会の制服お譲り会や我が家のおすすめレシピの紹介。文化部のPTA会報の発行、おすすめ図書の紹介、生活指導部の下校時の交通安全指導などを実施しました。一方で、保健体育部で計画していた球技大会は、残念ながら新型コロナの感染状況を鑑み、中止せざるを得ませんでした。また、PTAの諸会議については、メンバーを絞っての開催やリモートの活用、紙面協議等、密を避ける工夫をしながら情報共有、意見交換を行っています。

コロナ禍の収束が見通せない中だからこそ、学校と家庭がつながる大切さを身に染みて感じています。活動できないことを嘆くのではなく、一つひとつの「できること」を見つけて、学校、地域、家庭で共に取り組むことで、子供たちの健全育成に資すると信じ、今後も活動を継続してまいります。





『人とひとのつながりを再確認しよう!』

～愛する子供たちの健全な育成と幸福のために～

山形市PTA連合会会長 船橋吾一

日頃より山形市PTA連合会の活動に対しご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。また、単位PTAにおいても子供たちの健全育成のための環境づくりや学校と地域の架け橋として、ご尽力いただいておりますことに心より感謝と敬意を表します。

8月26・27日に第70回日本PTA全国研究大会山形大会・第54回日本PTA東北ブロック研究大会山形大会が、分科会を山形県内10会場、全体会を山形市総合スポーツセンターで開催されました。全国から多くのPTA会員の皆様から参加していただき、人とひとの「つながり」の大切さを体感することができた大会になりました。山形市PTA連合会の皆様には、全体会のスタッフとしてご尽力いただきました。本当にありがとうございました。

市P連ソフトボール大会は、新型コロナウイルス感染防止を徹底し、4年ぶりに開催することができました。21チームが参加し、熱戦が繰り広げられました。市P連教育懇談会は昨年度リモート開催でしたが、今年度はリアルで実施することができました。『山形市の「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進について』をテーマに、市教育委員会の方から説明の後、模擬熟議を行いました。また、親学「いのちの大切さ学習会」では、FR教育臨床研究所所長の花輪敏男先生をお招きし、「発達障害とは」～正しい理解と正しい対応のために～の講話をお聞きすることができました。コロナ禍においても、山形市PTA連合会はあらゆる変化に対応しながら、愛する子供たちの健全な成長と幸福を願い、「つながり」を大切にしながら私たちの学びを深めてきました。これからも、変化する教育環境に親としてPTAとして出来ることを、歩みを止めることなく学び続けたいと考えています。



「つながり」の中で子供たちを育む

山形市教育委員会 教育長 金沢智也

山形市PTA連合会並びに各単位PTA、そして、会員の保護者の皆様には、日頃より山形市の教育の充実と発展にご支援とご協力を賜り誠にありがとうございます。また、学校内外において、子供たちの豊かな成長と健全育成にご尽力を賜り心より感謝を申し上げます。

さて、新型コロナウイルスの影響により、この2年間中止を余儀なくされた活動も多くありましたが、今年度は関係各位のご尽力により、適切な感染対策のもと様々な事業及び活動を実施することができました。特に、8月には本県において日本PTA全国研究大会山形大会が開催されました。大会スローガン「人とひとのつながりを体感しよう！～あがらっしゃい精神の山形から～」のもと、船橋大会実行委員長を中心に山形市PTA連合会が心を込めて準備・運営をしてくださいました。大会では、「つながり」を意識しながら、家庭教育や学校教育、地域連携、情報教育等について互いに学び合う研修が行われ、子供たちの健全な育成を推進するための手がかりを明確にしていただきました。我々大人の学びや意見の交流が社会全体で取り組む教育へと意識が広がり、子供たちの豊かな成長に繋がることと確信をしております。

「つながり」を象徴するものとして「コミュニティ・スクール(以下C・S)」があります。C・Sとは、「地域学校協働活動」を通して、「地域とともににある学校づくり」を推進していくものです。山形市では今年度、市立の小中高等学校すべてに学校運営協議会が設置され、52校全てがC・Sとなりました。今後、学校と地域の「つながり」が更に強固なものとなり、子供たちの学びや成長を力強く後押ししてくれることを期待するとともに、地域と一体となって行われる豊かな活動が山形の未来を担う郷土愛に満ちた人財の育成に結び付いてくれることを心より願うところです。結びになりますが、山形市PTA連合会及び保護者の皆様におかれましても、様々なつながりのもとご活躍いただくとともに、山形市の教育に対する変わらぬご理解とご支援をどうぞよろしくお願ひいたします。

令和4年度山形市PTA連合会教育懇談会 ——報 告——

研修委員長 武田 靖裕

テーマ：山形市の「コミュニティ・スクール」と 「地域学校協働活動」の一体的推進について

10月17日（月）、山形市PTA連合会教育懇談会を実施いたしました。当日は、金沢教育長をはじめ市教委の皆様、各学校のPTA会長、母親委員会運営委員の皆様よりご参加をいただきました。山形市は令和2年度から、保護者や学校、地域の方々、そして行政が一緒になって学校の運営について話し合う「学校運営協議会（コミュニティ・スクール）」制度を導入し、子供たちの学びや成長を地域全体で支える「地域学校協働活動」を推進しています。

初めに、山形市教育委員会社会教育青少年課協働活動員の佐藤昌宏様より、山形市の「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」の一体的推進について話題提供をしていただきました。なぜ今「コミュニティ・スクール」と「地域学校協働活動」が必要なのか、一体的推進のための工夫、PTA会長への期待等についてご説明いただきました。また、山形市の広報番組YBC「市政の目」で放送された山形市立高瀬小学校の一体的推進の様子「地域とともにある学校づくり」を視聴しました。

それを受け、グループごとトーキリーダーを中心に模擬熟議を行いました。模擬熟議の

テーマは『『子供のため』とはどのようななかかわり方をいうのでしょうか』です。「熟議」とは、よりよい集団（学校）生活や人間関係を築くために、「協働して取り組む一連の自主的、実践的な活動」を「話し合い」を重ねながら生み出そうというものだそうです。初めにグループ毎の自己紹介（誕生日が1番早い方から順番に、学校名、お名前、子供の頃の将来の夢、お住いの地域の自慢を1つ）、次に模擬熟議のテーマについて自分の考えを付箋紙に簡単に書き、1人ずつ画用紙に付箋を貼りながら考えを話しました。その後、各グループから発表があり、参加者全員で考えを共有することができました。各発表で『子供のため』とは、◎子供の成長を願うこと ◎子供の思いに寄り添うこと

◎自己決定を大切にすること ◎安心して本音を言えるようにすること ◎子供の興味・関心に基づくこと ◎地域で学ぶこと ◎親子で一緒に体験し、一緒に楽しむこと等の考えが共通したものでした。

最後に、山形市教育委員会社会教育青少年課指導主事・社会教育主事の小林星太様より、「事例紹介と模擬熟議のまとめ」の話があり、「子供の思いや願い」を実現するための学校と地域の体制づくりについて説明していただきました。市P連の令和4年度《スローガン》は『人とひとのつながりを再確認しよう！』～愛する子供たちの健全な育成と幸福のために～です。まさに、スローガンそのものの研修ができたと思います。ご指導いただいた市教委の皆様、熱心に熟議をしていただいた参加者の皆様、本当にありがとうございました。



いのちの大切さ学習会

広報委員 山口 紘里子

令和4年11月5日(土)、山形国際交流プラザ大会議室にて『「発達障害とは」～正しい理解と正しい対応のために～』と題して、花輪敏男氏を講師に「いのちの大切さ学習会」が開催されました。花輪氏には自身の数多くの経験をもとに実際に起きている問題、事例を交えながらご講演をいただきました。

第一に「発達障害」ADHD・LD・自閉症スペクトラムについてしっかりと理解すること。一人ひとりが、そして社会全体が少しでも正しく理解することで、自ずと正しい対応が出来ていくし、「発達障害」に悩む本人、またそのご家族が今のこの世の中で少しでも生きやすく生活しやすくなるのではないかと思いました。

講話の中で、

- ・もし我が子が発達障害じゃないか?と感じた時、周りに言われた時、その時は心配しすぎないことが大事であり、まずは学校(先生)に相談してみること。
- ・家庭と学校での様子は違うものであり、それを一番よく知っている家族が寄り添うこと。
- ・処方された薬は教育しやすい状態にするだけであり、やはり一番大切なのは身近で出来る、気づけるその本人にあった教育であること。

と話されていました。

最後に花輪氏が投げかけてくれた言葉があります。「教育こそ最大の治療なり」この言葉は会場にいる私たちの心にぐっと刺さる言葉となりました。花輪氏の講演は大人だけではなく、今後、子供たちの教育の場で伝える機会があればと思いながら会場を後にしました。



第47回 山形市PTA連合会ソフトボール大会

令和4年10月23日(日)

於：山形市スポーツセンター、山形一中グラウンド

交流委員長 鹿又源州

ブロック名	優 勝	準 優 勝	第 三 位	
スポセンA	出羽小	南沼原小	東沢小	大郷小
スポセンB	九 小	十 小	七 小	六 小
山形一中	一 中	十 中	山寺小中	七 中

*降雨のため、スポセンB準決勝(七小対九小)は1回終了後の得点で、スポセンB準決勝(六小対十小)と決勝、スポセンA決勝、山形一中決勝は、9人によるジャンケン5人先勝が勝チームになりました。

第47回山形市PTA連合会ソフトボール大会が、10月23日(日)に4年ぶりの開催となりました。久しぶりの開催ということもあり各小中学校からの参加登録があるのか不安な面もありましたが、多くの小中学校から登録を頂いたことに心から感謝を申し上げます。大会当日も各小中学校のチームが激突し、大変白熱した試合となりました。本大会の趣旨でもある、各PTAの意義を一層高め、団結を図ると共に、市PTA連合会の意気を示し、相互の親善を深めることにつながったと感じております。ご協力頂いたすべての皆様に心から御礼を申し上げます。



PTAの役割

山形市PTA連合会第21代会長 鈴木真一



皆さんは、PTAは何のために存在していると思われますか。私はPTAの使命は、子供たちをより良い環境で育んでいく状況を私たちが創っていくことだと思っています。日々より良い環境に近づける努力をしていくことだと思います。それは、自分の子供だけ環境が良くても成り立ちません。クラス全体の環境、学校全体の環境、家庭の環境、また、自分が住んでいる地域の環境を考えていくことが大切だと思います。そこには親や地域の大人の考え方方が大きく子供たちに影響します。私たちの考え方次第で、子供たちの環境は大きく変わっていきます。だからこそ、我々も子供の成長に合わせ一年一年成長していくことが大切だと思います。

PTAには様々な価値観の方がいらっしゃいます。その様々な価値観に、よりたくさんふれることが、自分の価値観を見直すことになったり、自分の考えを確信することになるのではないでしょうか。私もPTAで、自分の子供に対する考え方や、親として、また、地域の大人としての責任など、勉強させていただきました。このPTAが私を成長させてくれたのだと思っています。私たちが悩みながら行動していけば、子供たちを取りまく環境は必ず改善していくものと確信しています。是非、各学校でPTAを活性化させてください。PTAが活性化すると、そこにはたくさんのコミュニケーションが生まれ、親としての考え方を養う素材がたくさんあふれてくると思います。私たちがPTAを通して成長し、しっかりととした価値観を養い、子供をより良い環境で育んでいくことが何よりも大切だと思います。

昨今、少子化に伴いPTAの簡素化などを考える学校もありますが、PTAは私たちの成長の場です。簡素化してしまえば、それだけ成長の機会が減ってしまいます。是非、PTA活動を活性化して頂き、役員だけで運営するのではなく、多くの方を巻き込んで、共に成長していくことが大切だと思います。今後、働き方改革や、AIの進歩などで、世の中が劇的に変わっていくことがあるかもしれません、私たちは変化を恐れることなく、しっかりと対応しながら子供たちを育んでいくことが大事だと思います。今後益々、家庭、学校、地域、そして行政の方々と共に語り合いながら、地域ぐるみで、子供たちの成長を支えていってください。今後ともPTA会員の皆様のご活躍を心から祈念いたします。

PTA活動に思う

山形市立第七中学校 校長 高嶋敏春



PTA活動の原点に立ち返って

先日、Yahoo！ニュースに次の見出しを見つけました。「PTA代行サービスが好調」というものです。内容はある旅行業者が始めた新サービスがちょっとした話題になっている、というのです。PTA専用のサイト作成とか、運動会など学校行事の企画、プロデュース、人材派遣、さらに広報紙のデザインや印刷など、多岐にわたる「PTA業務」を代行するというものでした。背景にあるのは「できればPTAは引き受けたくない」という親が大勢いる、ということなのです。仕事が多忙だとか、PTAの人間関係を煩わしいと感じるからだというのですが・・・。

一部分を切り取って誇張されている部分があるとは思いますが、PTA代行サービスが存在すること、利用者がいることも事実のようです。しかし、いや、までまで、です。私が長年見てきたPTA活動とは違います。本県で開催されたPTA全国研究大会、4年ぶりに開催された山形市PTA連合会ソフトボール大会等に集った皆さんの表情には、真剣さ、意欲、楽しさ、笑顔が満ち溢っていました。でも、相反する人がいるのも事実なら、ここはそもそも、に立ち返るのがいいのかもです。

PTA活動とは保護者と先生が協力し合って学校運営に携わり、子供の学習環境を整えていくということです。加入や参加は任意です。確かに建前だけでは成り立たないこともあります、無理(と感じる)ことは長続きしないことも事実です。時代による考え方やライフスタイルの変化に対応していくこそ、持続可能な活動になっていくのだと思います。丁寧に説明し、賛同する人を巻き込みながら輪を広げていくことがこれまで培ってきた私たちの知恵だと思います。子供たちのためにと積み重ねた経験を大切にしながらも、変化を積極的に受け入れていくことできます。PTA活動が発展していくものと信じます。保護者や先生が生き生きしている学校は子供たちも生き生きしているじゃないですか！自信と誇りをもって進みましょう。

テーマ：「命の尊さ大切さ」～かかわる喜び つながる心 守ろう 私と家族の笑顔～

○定例母親委員会

- ・第1回母親委員会（5/12）今年度の活動計画・情報交換
- ・第2回母親委員会（6/23）情報交換
- ・第3回母親委員会（2/中旬）今年度の反省・情報交換

○親学「家庭教育視察研修」（11/24）

- ・コバル見学・山形少年鑑別支所視察

○拡大母親委員会（11/5）

- 講演：「発達障害とは」
～正しい理解と正しい対応のために～
講師：花輪 敏男 氏（FR教育臨床研究所所長）

○母親委員会だより「マザーズねっとわーく」

No.27 3月発行

日々母親委員会の活動に、ご理解・ご協力いただきましてありがとうございます。また、単位PTAにおかれましてもコロナ感染防止に気を付けながら、できる限りの活動をしていただき感謝申し上げます。

本年度は、コロナ感染者の数が落ち着いていたこともあり、第1回・第2回の定例会時には、久しぶりに4～5名のグループでの情報交換ができました。単位PTAの母親委員長から、子供たちの様子や母親委員会活動の悩み、要望等を伺い、拡大母親委員会につなげました。今年度も山形市PTA連合会との共催で、「いのちの大切さ学習会」を開催し、花輪先生から「発達障害」についての講演をいただきました。親学「家庭教育視察研修会」ではコバル・山形少年鑑別支所へ視察に行ってまいりました。他校のおゆり会等の活動について情報提供もを行い、各学校の母親委員会の活動がより良く活発なものになればと思っております。

私たちは、コロナ感染防止に気を付けながらも、子供たちの幸せな未来のために、学び合うこと、情報を発信・共有することを大切にし、今後の様々な活動に活かしていくように努めています。

晴れの受賞 おめでとうございます

(山形市PTA関係)

☆東北ブロックPTA協議会会长表彰（団体）

- ・山形市立千歳小学校PTA

☆山形県PTA連合会会长表彰

- 〈表彰状〉・佐藤清徳 山形市PTA連合会前副会長
・無着哲哉 山形市PTA連合会前副会長
・鈴木崇人 市PTA連合会研修大会実行委員長

☆広報紙コンクール山形県PTA会長賞

- ・山形市立第一中学校PTA「希望の鐘」

☆山形市PTA連合会会长表彰（感謝状）

- | | |
|----------------|-----------------|
| ・佐藤清徳（前副会長／三中） | ・無着哲哉（前副会長／一中） |
| ・清野正敏（前副会長／南小） | ・井上賢一（前副会長／三中） |
| ・豊川剛（前理事／六小） | ・今野幹雄（前理事／東小） |
| ・星川健一（前理事／出羽小） | ・佐藤宏幸（前理事／山寺小中） |
| ・宇野正彦（前理事／十中） | ・古沢和明（前理事／五中） |
| ・草刈三郎（前理事／八中） | ・武田敦（前理事／九中） |
| ・志賀雅彦（前理事／金井中） | ・佐藤元（前理事／附属中） |
| ・後藤康晴（前監事／二中） | ・上條智広（前監事／蔵二小） |

◆◆◆令和4年度 山形市PTA連合会役員名簿◆◆◆

役職名	氏名	所属PTA
会長	船橋吾一	藏一中
副会長	武田靖裕	鈴川小
副会長	鹿又源州	南沼原小
副会長	海和伸吉	附属中
副会長(T)	武田喜好	西小
副会長(T)	高嶋敏春	七中
理事	小木曾正義	三小
理事	川崎充	七小
理事	木川浩史	西山形小
理事	横尾文昭	本沢小
理事	船渡利恵子	金井小
理事	山口絵里子	藏一小

役職名	氏名	所属PTA
理事	遠藤倫	高橋中
理事	後藤和也	一中
理事	伊藤善隆	三中
理事	太田孝幸	四中
理事	高見佳澄	山寺小中
監事	岡崎昌平	滝山小
監事	渋谷義行	七中
事務局長	大江昌信	
事務局員	佐藤静子	
事務局員	奥山絢子	
事務局員	佐藤明子	

編集後記

令和4年度の山形市PTA連合会会報『じゅひょう』の発刊にあたり、ご多用の中、原稿や写真をお寄せいただきました皆様に改めて御礼を申し上げます。今年度も市P連事務局のご協力のもと完成することができました。ご高覧いただければ幸いです。

さて、準備を進めて参りました『第70回日本PTA全国研究大会山形大会』が全国各地から多くの方々をお迎えし開催することができました。ご参加いただきました皆様ありがとうございました。実行委員会はじめ開催に携わられた皆様、本当に疲れ様でした。また、「ソフトボール大会」も4年ぶりに開催することができ、「教育懇談会」も参考しての開催となり、全国大会に続き、ようやく人とひととのつながりを体感できる一年となりました。コロナの収束は未だ見られませんが、引き続き当会へのご支援ご協力をお願い申し上げます。

